

いよいよ今月からスタートする第5次総合計画の“留萌を彩る6つの基本政策”を紹介します

第3回

“自然と資源”の政策

るもいの未来図  
[第5次留萌市総合計画]



“自然と資源”の政策のシンボルである“地”(つるばみ色)には、日本海と山々に囲まれた留萌の地力とそこから生み出される生産力を、生きるエネルギーに変えていくという意味を込めています。

全編は、留萌市ホームページで公開しています  
<http://www.e-rumoi.jp>

自然の恵みを活かし、資源を大切に

近年、人々の健康志向や食文化の進展に伴い、「安全、安心な食料」「生産者の顔の見える食料」に期待が寄せられています。また、車中心の現代社会では、道路、駐車場の整備、エネルギーの消費、交通事故など社会

的なコストが大きく、環境にも大きな負荷を与えています。この「自然と資源」の政策では、留萌を取り巻く海と大地を育み、そこから生み出される産物を活かす知恵を出し合い、エネルギーに行動し、提供者

(農林漁業者、水産加工業者、業者など)も消費者(市民)も、その恵みを分かち合える「地産地消の推進」ことを願っています。また、次の世代に住みよい環境を残していくためにも、石油

製品などの化石燃料や木材などの消費を抑え、風力や太陽光などの新エネルギーを利活用することなど、自然の恵みを活かし、資源を大切に、市民みんなで豊かな地球環境を守ることが願っています。

基本政策の成果を測るための指標と達成目標

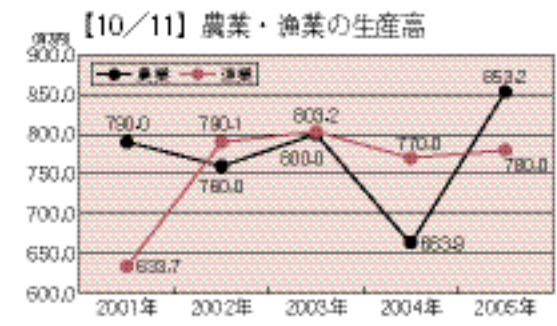
目標値は、基本構想最終年度の2016(H28)年度

指標名	基準値	目標値
【10】農業生産高(百万円)	780.0	

農林水産省「農業産出額」、農林水産関係市町村データ(年産)より。基準値は、2001(H13)年~2005(H17)年の実績の平均値。

指標名	基準値	目標値
【11】漁業生産高(百万円)	748.8	

市役所農林水産課調べ。基準値は、2001(H13)年~2005(H17)年の実績の平均値。



指標名	基準値	目標値
【12】一件当たり1年間の電灯電力量(kw)	3,612	やや喝

北海道電力「需要電力の推移」。「電灯」には、一般家庭分と街灯分が含まれる。基準値は、2001(H13)年~2005(H17)年の実績の平均値。



指標名	基準値	目標値
【13】エネルギーや資源の有効利用や節約をする気持ちのある市民の割合(%)	17.3	65.0

市民満足度アンケート。基準値は、2006(H18)年調査の数値。今後は毎年実施し比較する。

指標名	基準値	目標値
【14】地元産品であることを意識して商品を選択する市民の割合(%)	51.7	65.0

市民満足度アンケート。基準値は、2006(H18)年調査の数値。今後は毎年実施し比較する。